

**新生駒市立病院 開院遅れる可能性も 入札参加の建設業者ゼロ****■予定価格「安い」 増額検討**

生駒市が近鉄東生駒駅前に建設を予定している新しい市立病院をめぐり、市は5日、建設業者を決定する一般競争入札を実施した結果、参加業者が1社もなかったと発表した。市は、入札の上限価格にあたる予定価格が低すぎたのが要因とみており、増額を検討。平成27年3月に予定していた開院時期が遅れる可能性も浮上してきた。



市は新市立病院の入札で、予定価格を約82億3千万円に設定。5月1日～6月4日に参加業者を公募したが、1社も参加がなかった。

市は、国が積極的に進める東日本大震災の復興工事や公共事業の影響で、建設業界の人件費や原材料費が高騰したことが要因とみている。

市の担当者は「全国の状況を踏まえると、市の設定した予定価格は『安い』と思われたのではないかとみている。

市は今後、予定価格を増額した補正予算案を市議会の6月定例会に提案し、再入札を実施する方針。

ただ、当初は7月上旬に予定していた着工時期が遅れ、開院時期もずれ込む可能性があるという。

市の担当者は「できる限り早く手続きを進めていきたい」としている。